

1. 西国立駅周辺地域まちづくり構想について (P.1)

● 本構想策定の背景と目的・役割

- ・本地域は、JR 南武線の踏切による交通渋滞の発生や歩行者等の安全確保、駅前におけるバスやタクシーへの乗り換えなど、検討すべき課題がある。
- ・本構想は、JR 南武線の鉄道立体化を見据えたまちづくりに取り組む際に、地域と行政、関係機関等がまちの将来像を共有することを目的とし、協働してまちづくりを進めるための指針となるもの。



2. 西国立駅周辺地域の将来像 (P.2～3)

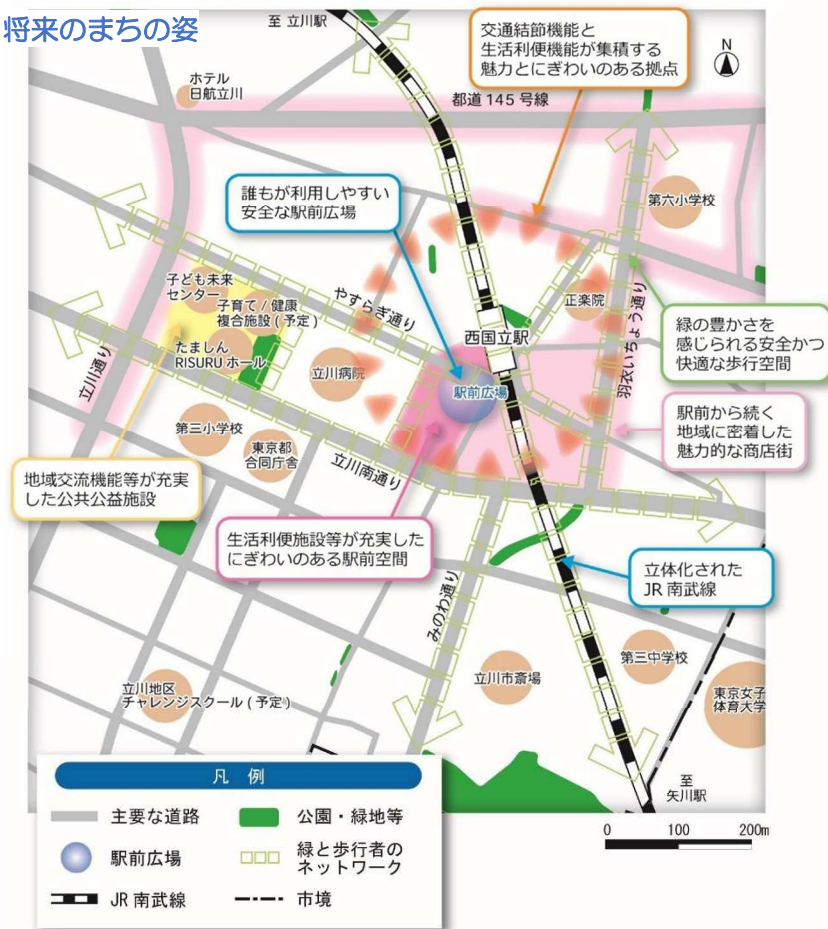
まちづくりの将来像を次のように定め、住環境に配慮した利便性の高い駅前ゾーンを中心として、緑豊かな生活、文化・交流、医療福祉等の拠点を形成し、立川駅周辺地域等とも連携するにぎわいと住みよさが調和するまちを目指す。

● まちの将来像

誰もが暮らしやすい緑うるおう交流拠点

～周辺地域と連携するにぎわいと住みよさが調和するまち～

● 将来のまちの姿



3. 分野別のまちづくり方針 (P.4～9)

3-1 土地利用

課題

- 駅周辺の未利用地の活用
- 日常生活を支える魅力ある商店街づくり
- 良好な住環境の維持

方針 にぎわいと住みよさが調和するまちの形成

○生活中心地としての機能集積

- 未利用地や鉄道立体化による創出空間に生活利便施設を誘導
- 活動や交流の中心地として、既存の公共公益施設の再編整備

○身近な商業地の活性化

- 駅前からつながる商店街等の活性化、にぎわいづくり

○良好な住環境の保全と安全安心なまちづくり

- 住宅と商業施設が調和した街並み形成、にぎわいと住みよさの両立
- 道路整備における歩行者の安全性確保や住環境の保全
- 緊急輸送道路、避難路及び沿道の防災性向上

3-2 道路・交通

課題

- 踏切による交通渋滞等の発生
- 公共交通機関等への乗り換え
- 駅周辺の安全な歩行空間等の整備

方針 安全・安心な道路交通環境の形成

○連続立体交差化の促進

- 踏切除却による交通渋滞の解消、鉄道による地域分断の解消
- 鉄道と交差する道路等の整備による歩行者等の安全確保

○駅の交通結節機能の強化

- 駅前広場及び駅にアクセスする道路の整備
- 地域交通の利便性向上

○安全・快適な道路環境整備

- 駅周辺及び地区幹線道路・街区幹線道路においては、ユニバーサルデザインの視点から道路環境を形成
- 地域内各施設と駅等を結ぶ歩行者ネットワークの形成

3-3 緑・景観

課題

- 緑を活かした魅力的なまちづくり
- 駅周辺の街並み景観の向上

方針 緑うるおう魅力的な街並みの形成

○緑の景観づくり

- 公園や公共施設等のまとまった緑を結ぶ緑のネットワーク（街路樹・植樹帯、民有地内の緑）形成による連続した緑の景観づくり
- 道路や鉄道立体化による創出空間の緑化、公共施設の再編に合わせた緑化

○住民・事業者・市の協働による緑の創出

- 住宅地における接道部の緑化促進、民間事業者との連携による緑化誘導等による、緑の豊かさを感じられる街並みづくり
- 住民・事業者と協力し、民有地内の多様な緑化推進による緑の総量維持
- 公園の管理や緑化活動等、行政と市民の協働による緑の保全・創出

○駅周辺の良好な街並み景観の形成

- 駅周辺の地域拠点にふさわしい景観に配慮した街並み誘導
- 無電柱化による道路景観の向上

4. 今後のまちづくりの進め方 (P.10)

● まちづくりの体制

方針 地域（住民・事業者）と行政（市）の協働のまちづくり

本地域では、住民や事業者等と行政（市）が意見を出し合い、共に協力しながら進める『協働のまちづくり』を基本として、まちづくりの実現を目指す。



● 今後のまちづくりの進め方

JR 南武線の連続立体交差化の早期実現に向け、隣接する国上市とも連携して関係機関に働きかけていくとともに、地域との協働を図りながら、本構想に基づくまちづくりの具体的な取組みを検討し、順次、実現を図る。

